

令和5年度 事業報告

社会福祉法人 吾郷会

経営理念 「顧客満足の追求」

新型コロナウイルスが5類へと移行したが、各事業所とも今まで通りの対応を行った。クラスターの発生もあったが重大となることはなかった。サービスに於いては少しずつ活動も増やし、サービス向上に努めた。

経営については、コロナウイルス・物価の高騰・職員の不足により、前年以上に厳しい状況であった。

指 標 同様のミスの削減(前年比)

先人の知恵と覚悟に学ぶ(マニュアル等の定期的チェック)

同様ミスの削減については、前年より以前に起こっていた同様のミスが発生しているケースが多々見られ、原因は定期的なチェック機能が働かず、小さなミスに繋がっていたが、それに関する重大な事故には至っていない。また、大きなクレームにも至っていないが、小さなミスの積み重ねを修正・改善し見える化する必要がある。

基本方針

※ 人材の育成

外部コンサルタントと管理者・次世代リーダー・ボトムアップの三種の研修をリモートと実地にて開催し、必要に応じ、個別面談を行う等人材育成を行った。他の協会等の研修にも積極的に参加し、情報収集及び知識習得を行いサービス向上につなげた。

人事評価については、今だコロナウイルスの影響で全体会議の開催が行えず、各サイトに於いて整合性を確認し、個々にフィードバック面接を行い、研鑽を行った。

※ 組織の確立

人材育成研修においても組織の在り方を話してもらい、コミュニケーションの充実を図り、働きやすい職場となるよう、職場改善を行った。

※ なぜの追求

指標の結果とおり、同じミスの繰り返しが見られた。是正の行い方を含め、原因の適切な分析を行い、「なぜ」を意識した改善活動を行った。

※ 地域貢献

コロナ禍により、交流事業は行うことがほとんどできなかったが、SDGs 活動を通じて貢献を行った。

研究発表大会は前年より継続し6月末まで Web にて発信を行い、外部からアンケートにて好評の意見をいただいた。

1. 事業

- (1) 介護老人福祉施設双葉園 設置経営 (定員 50名)
- (2) 介護老人福祉施設ハートランド双葉園 設置経営 (定員 30名)
- (3) 介護老人福祉施設サンデイズ双葉園 設置経営 (定員 50名)
- (4) 介護老人短期入所・介護予防老人短期入所 設置経営
(双葉園4名、ハートランド双葉園6名、サンデイズ双葉園20名)
- (5) 通所介護・通所介護予防老人福祉施設吾郷センター 設置経営 (定員 25名)
- (6) 美郷町介護予防・日常生活支援総合事業
- (7) 通所介護・通所介護予防老人福祉施設サンデイズ双葉園 設置経営 (定員 40名)
- (8) 大田市介護予防・日常生活支援総合事業
- (9) 認知症対応型共同生活介護マホロバの里 設置経営 (定員 8名)
- (10) 訪問看護・介護予防訪問看護ステーションおおち 設置経営
- (11) 吾郷会居宅介護支援事業所 設置経営
- (12) 高齢者生活支援ハウスサンデイズ双葉園 受託運営(大田市) (定員 20名)
- (13) 養護老人ホームまほろば大和 設置経営 (定員 50名)
- (14) 外部サービス利用型特定施設入居者生活介護事業所まほろば大和 設置経営
- (15) ヘルパーステーションまほろば 設置経営
- (16) 老人介護支援センター事業
(美郷町在宅介護支援センター大和、大田市海岸中央在宅介護支援センター) 設置経営
- (17) 小規模多機能型居宅介護ふたばの里 設置経営
(定員 登録24名、通所12名、宿泊7名)
- (18) 生活困窮者や社会福祉に関する人材育成に対する一時的な居住等の提供事業

2. 評議員会

年間に定時評議員会を1回、臨時評議員会を1回開催し、決算関係、補正予算、当初予算等定款に基づき審議した。

3. 理事会

年間に通常理事会を2回、役員改選による理事会を1回開催し、理事執行状況の報告及び決算関係、補正予算、当初予算、諸規程の変更等定款に基づき審議した。

4. 相談役

法人の事業等について随時相談を行った。

5. サイト長会

コロナ禍により定期的な開催は出来なかったが、本部からの情報発信を行った。

6. 監査

書面監査 令和5年5月19、20日 決算監査 令和5年5月22日

7. 研修

役職員による外部研修へ年間22回参加(役員研修1回、外部研修8回、Web 研修13回)し、知識の向上や情報収集を行った。法人内研修(リモート)により、自己研鑽すると共に自事業所の活動につなげた。

8. 人事評価制度

年間2回、人事評価を実施した。全体会議は行えなかったが、各サイトにて平準化を図るための各サイトで水平展開を行った。

9. 第三者サービス評価

事業所によるサービスの点検を法人が委嘱したサービス評価委員3名により、サービス内容の整合性の評価を受け、サービスの質の向上を図った。また、改善事項について指導いただき、評価項目の改善を行った。

10. ISO の推進

内部監査の有効な活動を行ったが、是正において根本原因の特定(なぜ)が的確でないケースがあり改善に時間がかかった。内部監査、サーベイランスにおいてサービス向上のための改善事項の問題が見つかり改善した。

11. 地域貢献事業の実施

各サイトで通勤経路の美化活動に努め、環境整備につなげた。保育所・小学校との交流、中学校・高等学校の職場体験の受け入れはコロナ禍でお互いに計画に至らなかった。また、継続して生活困窮者の方へ住宅提供の整備を行ったが利用はなかった。

12. 研究発表大会の開催

会場での開催は出来なかったが、前年度から継続して Web での研修の開催に至った。

13. 各種委員会

・リスクマネジメント委員会

年間に6回開催し、リスクの軽減、事故予防に努めサービスの向上を図った。また、様々な基準の平準化を図り展開した。

・食事委員会

年間に6回開催し、課題を検討しながら衛生に関する事項、食事の質の向上を図った。

・コンプライアンス委員会

各事業所とも相談・通報はなかった。委員により相談体制の強化を図った。
委員会の中で今後ますます増加する各種ハラスメントについて協議した。

・広報委員会

広報誌を年間に4回発行し、家族・地域・関係機関に配布して吾郷会の活動を PR した。
ホームページの更新を随時行った。